

平成 27 年度全国学力・学習状況調査における柏市の調査結果の概要

柏市の調査結果の概要を、千葉県教育委員会が作成した県全体の調査結果報告リーフレット (http://db.ice.or.jp/nc/?page_id=468 に掲載) に倣いまとめました。

柏市の今年度の結果

各テストの平均正答率は、下表のとおりであり、概ね全国平均と同程度の結果でした。

なお、表中の「標準化得点」は、柏市の平均正答率を、全国平均正答率を100として換算した値です。過去の調査の標準化得点と比較することで、柏市の経年変化のおおよその傾向を把握することができます。

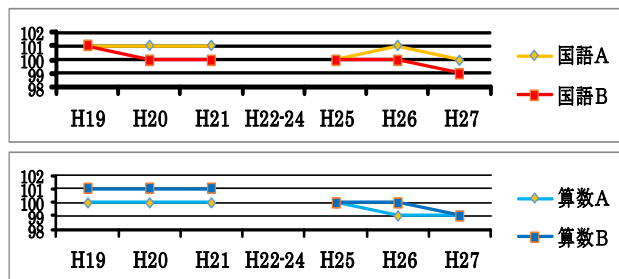
柏市	小学校					中学校				
	国語A	国語B	算数A	算数B	理科	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
全国平均正答率	70.0	65.4	75.2	45.0	60.8	75.8	65.8	64.4	41.6	53.0
柏市平均正答率	70.3	63.4	73.7	43.8	61.0	75.0	64.7	63.2	41.8	52.0
標準化得点	100	99	99	99	100	99	99	99	100	99

柏市の標準化得点の推移 (平成19年度～27年度)

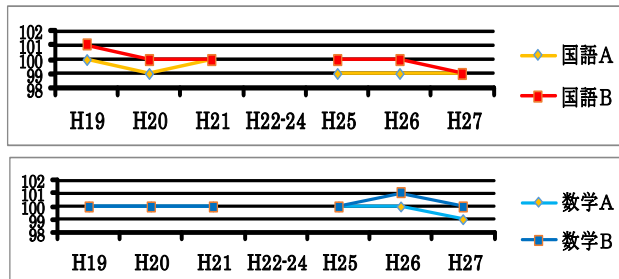
平成19年度以後、概ね全国平均と同程度の結果で推移しています。

※ 平成22・24年度は抽出調査、平成23年度は中止のため、それぞれのデータは反映していません。

【小学校】



【中学校】

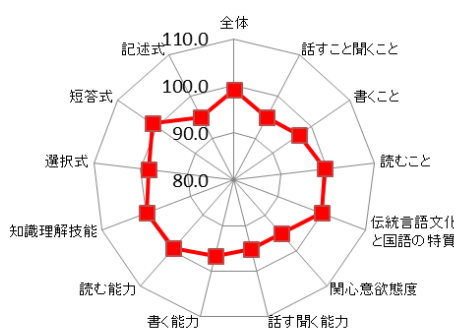


教科の傾向と課題 について

※ 全国平均正答率を100とした場合の、柏市の正答率 (赤) を表しています。

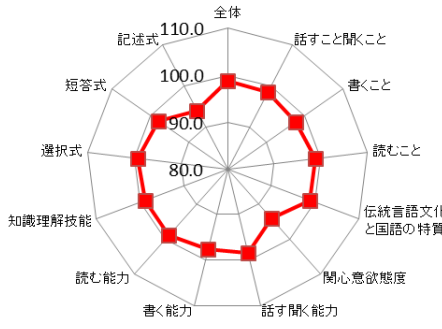
※ 課題への対応策は、「平成27年度柏市学力・学習状況調査報告書『学ぶ意欲と学ぶ習慣を育む』」をご覧ください

【小学校 (国語)】



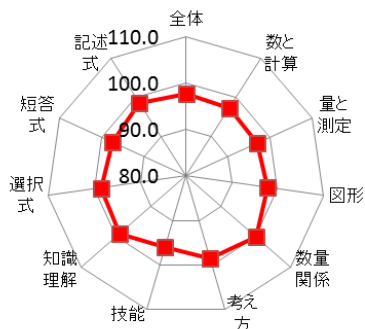
全国と比較すると、「話すこと聞くこと」「関心意欲態度」「記述式」の問題の正答率が低くなっています。

【中学校 (国語)】



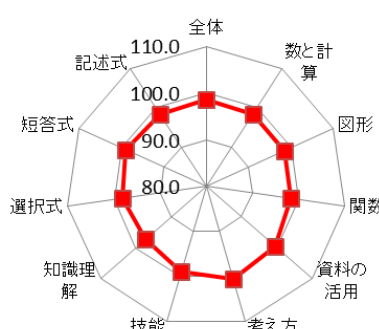
全国と比較すると、「関心意欲態度」「記述式」の問題の正答率が低くなっています。

【小学校 (算数)】



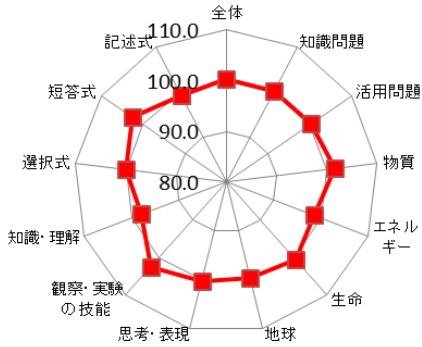
全国正答率と比較すると、「数量や図形についての技能」が低くなっています。

【中学校 (数学)】



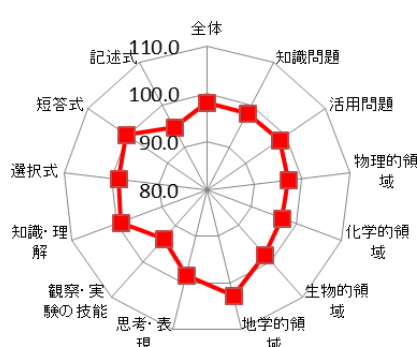
全国と比較すると、「図形・関数」などの「知識理解」を深める問題の正答率が低くなっています。

【小学校（理科）】



全国の正答率と比較すると、同等もしくは、やや上回っています。

【中学校（理科）】



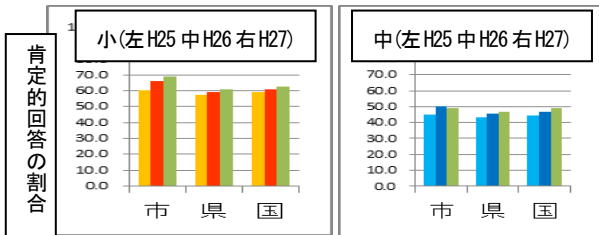
全国と比較すると、「観察・実験の技能」がやや下っており、これらと関連した問題の多い「記述式」の問題の正答率が低くなっています。

生活習慣や学習環境等 について（児童・生徒質問紙調査から）

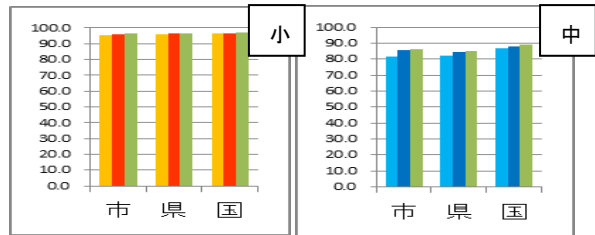
【家庭学習について】

① 肯定的回答（している）の割合は平成25・26年度よりも多くなり、国や県と概ね同程度以上です。長時間する割合が多い一方、1時間未満の割合も多く、二極化していることが課題です。

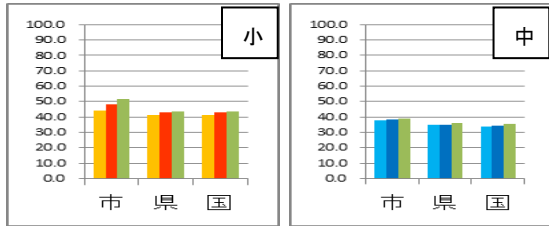
●家で、計画を立てて勉強しているか



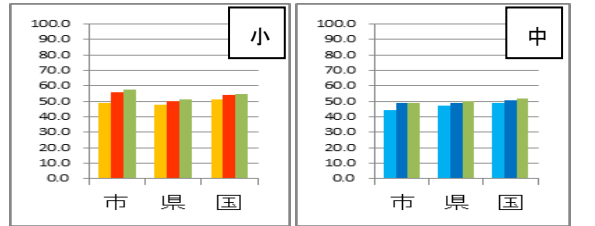
●家で、宿題をしているか



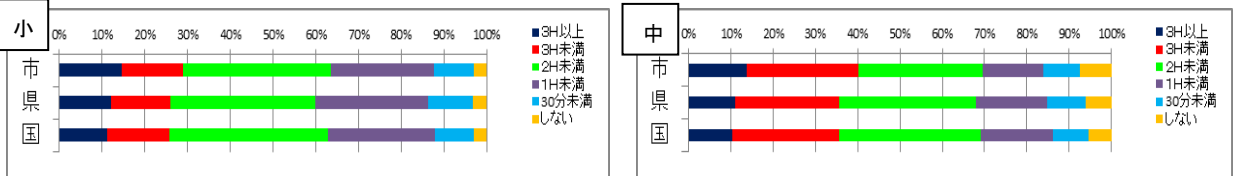
●家で、予習をしているか



●家で、復習をしているか

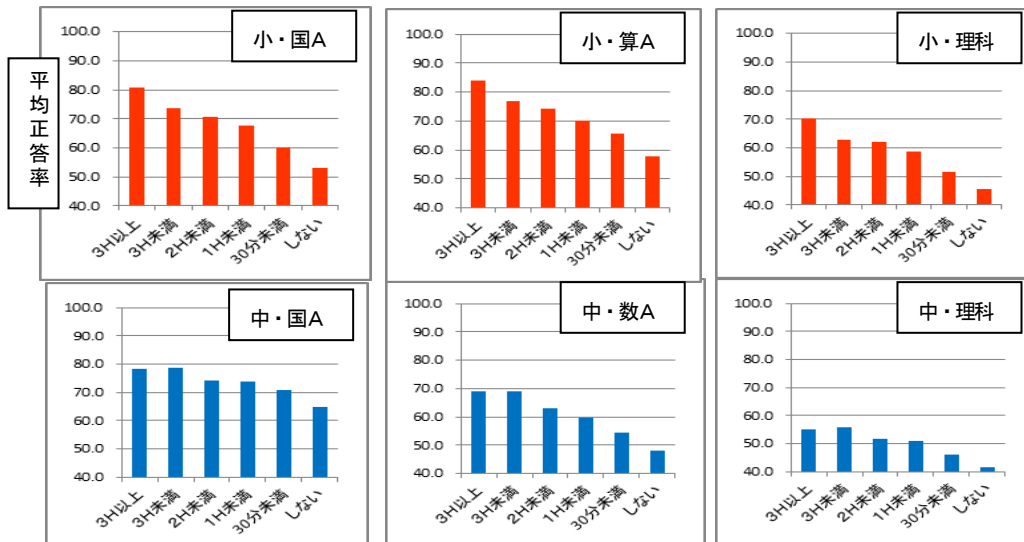


●学校の授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらい勉強するか（塾・家庭教師含む）



② 家庭学習の時間が長い児童生徒のほうが、平均正答率が高い傾向にあります。

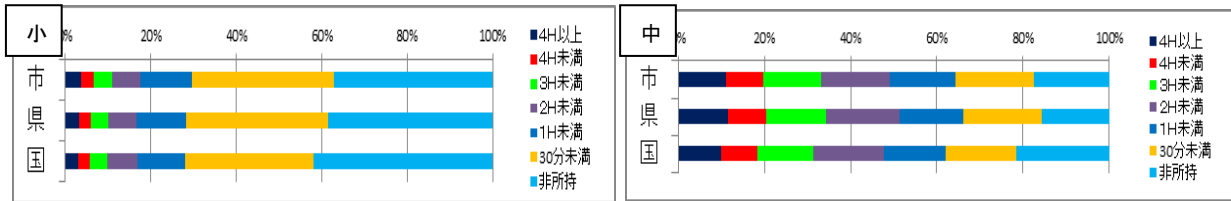
●家庭学習の時間と、国語A、算数・数学A、理科の正答率の関係



【携帯電話やスマートフォンの使い方について】

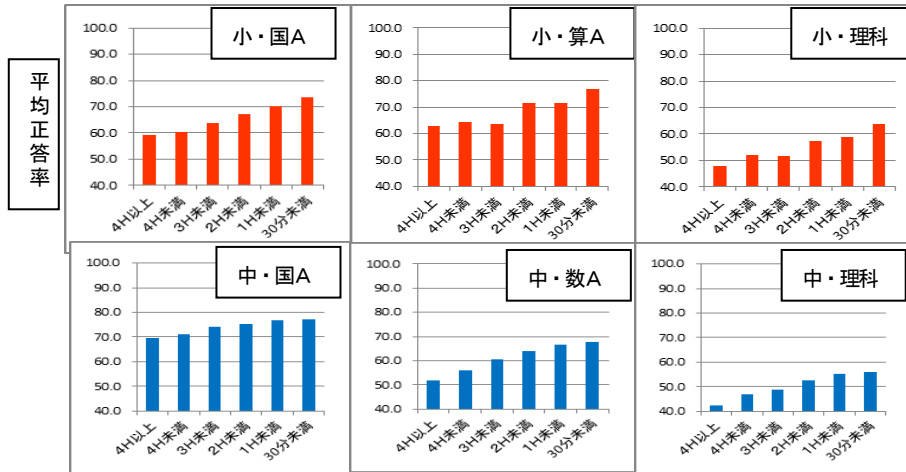
- ① 中学校では、毎日1時間以上使う生徒が半数近くおり、3時間以上使う生徒も20%います。家庭学習に大きく影響していると考えられるため、家庭での使い方について検討していく必要があります。

●普段（月～金），1日当たりどれくらい携帯電話やスマートフォンで通話やメール，インターネットをするか（ゲーム除く）



- ② 携帯電話やスマートフォンを使用する時間が長い児童生徒のほうが、平均正答率が低い傾向にあります。

●携帯電話やスマートフォンを使用する時間と、国語A，算数・数学A，理科の正答率の関係

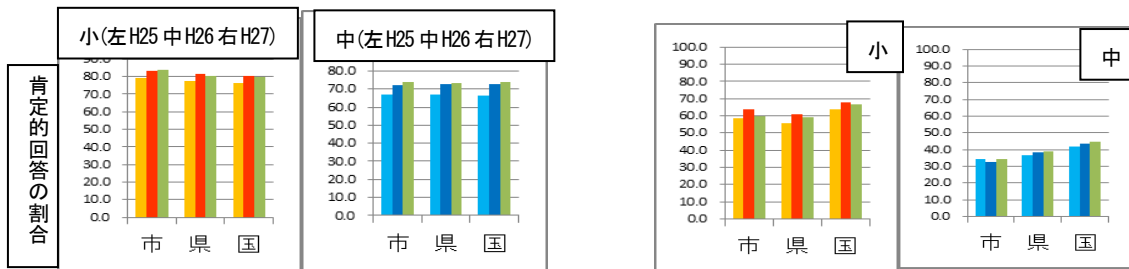


【人のかかわりについて】

- ① 家族との会話については、肯定的回答（している）の割合は平成26年度よりも多くなりました。中学校では、地域の行事への参加が昨年に比べ増えていますが、国や県に比べるとまだ低くなっています。

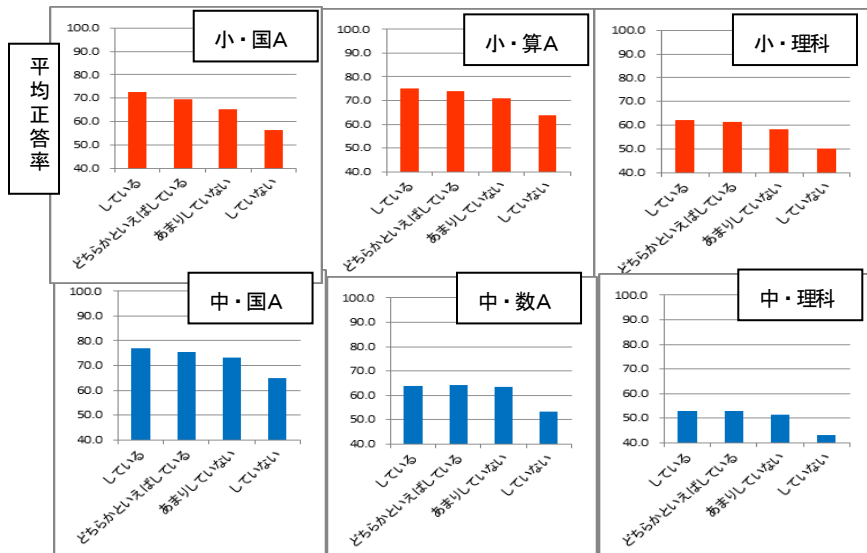
●家の人と学校での出来事について話をしているか

●今住んでいる地域の行事に参加しているか



- ② 家族との会話が多い児童生徒のほうが、平均正答率が高い傾向にあります。

●家の人と学校での出来事について話をする割合と、国語A，算数・数学A，理科の正答率の関係

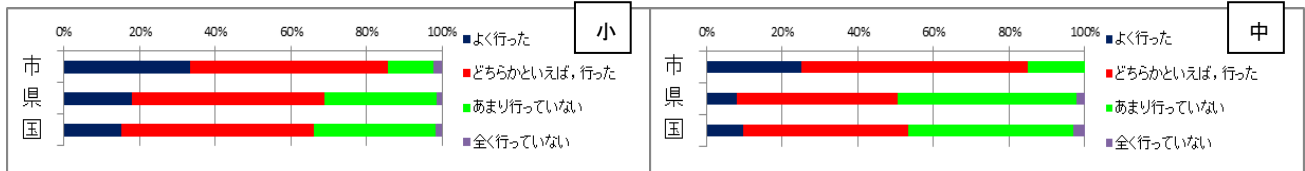


学校の取組について（学校質問紙調査から）

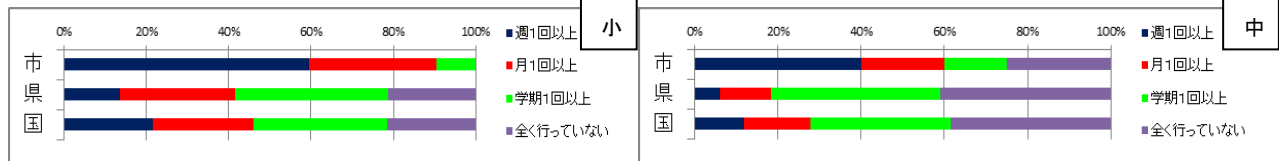
【授業での ICT 機器の活用について】（昨年度の小学5年・中学2年において）

小学校・中学校ともに、県や国よりも高い水準で、ICT 機器を活用した授業を行っています。特に、算数や数学の授業での活用が顕著です。ICT 機器を活用した授業は、柏市の教育の重点目標でもあるため、今後も ICT 機器を効果的に活用したわかりやすい授業を展開するとともに、ICT 機器を活用し子ども同士が教え合い学び合う学習を推進していきます。

●コンピュータ等の情報通信技術（パソコン・プロジェクタ等）を活用して、子ども同士が教え合い学び合う学習を行いましたか。



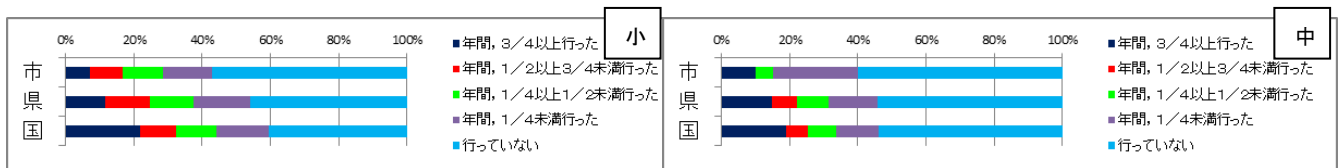
●算数や数学の授業において、コンピュータ等の情報通信技術（パソコン・プロジェクタ等）を活用した授業を行いましたか。



【少人数指導について】（昨年度の小学5年・中学2年において）

柏市は国や県に比べ、算数において少人数指導の実施状況が低い傾向にあります。個の実態に応じた少人数指導によるきめ細かい学習の充実を目指して、各学校に実施の拡充を働きかけていきます。

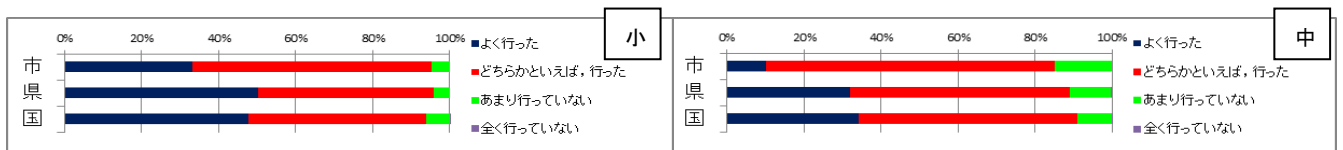
●算数の授業において、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行いましたか。



【学習の振り返りについて】（昨年度の小学5年・中学2年において）

柏市は国や県に比べ、本時の学習の振り返り実施状況が低い傾向にあります。全ての学習において、冒頭で目標を提示し、授業の最後には、学習したことを振り返る時間を確保することにより、その授業で学習した内容の定着が図れるよう、各学校へ積極的に働きかけていきます。

●授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか。



※ 全国学力・学習状況調査の分析結果について

本調査は必ずしも過去の学習内容全体を網羅するものではなく、把握できるのは、あくまでも個々の学力の特定の一部であることを申し添えます。

★ 柏市教育委員会の、学力向上への取組について

全国学力・学習状況調査は、小学校6年生・中学校3年生を対象とした調査ですが、柏市教育委員会では、児童生徒の毎年の状況を継続的に把握するため、平成24年度から独自に小学校2年生から中学校3年生までを対象とした柏市学力・学習状況調査（以下柏市調査と表記）を実施しています。

つきましては、柏市教育委員会における学力向上への取組は、柏市調査の結果分析を踏まえて計画・実施していますので、その詳細は「平成27年度柏市学力・学習状況調査報告書『学ぶ意欲と学ぶ習慣を育む』」（http://www.edulab.kashiwa.ed.jp/sidou/H27_kashiwagakute.pdf）をご覧ください。